

サマーセミナーを通じて感じたこと

現代政策学部 1 年 福島 悠斗

私は、今回のサマーセミナーが初めての留学でした。私は、大学進学前から、将来語学を使った職業に就きたいと考えており、その夢を叶えるために留学に行き、語学力をあげ様々な文化の違いを学びたいと考えていました。特に、長期留学を目指していました。そのため、三週間という短い期間で何を学ぶことができるのか、語学の成長に役立つのか、不安がありました。私が参加を決めたきっかけは、上記に述べたことを学ぶことはもちろん、英語をもっと好きになるため、自分の実力を知るためでした。

私が一番思い出に残っている出来事は、最終日前日のお別れパーティーです。親戚や近所の方など沢山の方に来ていただきました。パーティーの最後にホストファミリーへ手紙を読んだときは、別れるのがさみしく、泣いてしまいました。素晴らしいホストファミリーに出会えて良かったです。





リバーサイドという場所も、見るものすべてが新鮮で、綺麗で、映画に出てくるような素晴らしいところでした。初めの数日は、慣れない環境や、生活で色々大変でした。しかし、日々の授業やアクティビティーを全力で取り組むことによって、最終日が近づくにつれて、終わってほしくないという気持ちが強くなっていきました。私がこの留学を経験して強く感じたことが、2つあります。1つ目は、自分の語学力の低さです。知っている単語や文法を使ってコミュニケーションをとる努力はしました。それでも、伝えたいことを伝えられなかったときは、とても不甲斐なく、悔しかったです。そのため、このサマーセミナー後、英語への勉強の思いが大きく変わりました。二つ目は、アメリカ人の人柄の良さや文化がとても好きになりました。三週間という短い間でしたが、たくさんの方と話して、様々なことを経験しました。そして、この留学に参加したことにより、長期留学への思いも強くなりました。今は、沢山英語を勉強して、また留学に行きたいとばかり考えています。この経験を生かして、これからも頑張ります。参加してよかったです。

